



発行 東京片貝会  
責任者 安達亮一  
さいたま市南区文蔵5-22-8-510  
電話050-3552-9801

### あと半年お待ちを！ 令和4年新年会は中止

見通しづらい日が続く中の歳末ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

11月の理事会にて新年会が開催できるかどうかを協議しましたところ、「大人数での会食には万全の準備が必要」「いざという場合の懸念が拭い切れない」「開催するしないを二転三転するわけにもいかない」などの意見を踏まえ、皆様の健康と安心安全を第一に考えた結果、やむなく新年会をこのたびも中止することにしました。

年2回皆が顔を合わせる楽しみですが、もう一度だけ辛抱しましょう。そして長らく待った分だけひときわ盛大な総会で再会を喜び合うのを心待ちにすることにしましょう。



寒さ厳しい季節となりましたので、お体を大切に、よいお年をお迎え下さい。

### 安達亮一 新会長 ご挨拶



この度、本田秀幸氏の後任として東京片貝会会長の大役を仰せつかりました。

東京片貝会は多くの会員の思いと運営の工夫により創立以来60年をこえております。これからも持続可能な会とすることを基本に、役員の仲間と運営してまいりたいと存じます。今後皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

コロナ禍により、昨年度は総会・新年会を中止し、今年度も総会は自粛開催、新年会は中止と判断しました。来年度総会は開催したいの思い

ですが、状況次第で判断させていただきます。  
会の活動や片貝の話題につきましては、ホームページ、LINEグループでも発信していきますのであわせてご覧ください。  
安達亮一（つぐみ会）

### 新旧役員理事一覧

#### 交代される役員・理事

お疲れさまでした

本田秀幸会長・事務局長 37

芝 強副会長 38

佐藤正志会計監査 39

松井京子 37

小野塚和夫 38

藤塚 弘 43

#### 新役員・理事

よろしくお願ひします

安達亮一 会長 42

内藤富美子副会長・母校を励ます会会長 43

徳永隆浩副会長・広報部長 52

藤塚伸雄事務局長・IT情報室長 48

安達 徹 会計部長 41

相崎俊夫会計監査 40

相崎清輝会計監査 57

小林和弘 41

高野昭人 47

徳永雅史 53

松山朱実 53

堀井ひとみ 54

安達良喜 54

佐藤 潤 55



### 秋の叙勲

吉田貴裕  
友田 啓  
白石知子  
名塚孝雄

(数字は小学卒年)

63 60 58 56



佐藤篤司さん

令和3年秋の叙勲が発表され、瑞宝小綬章に調布市在住で東京片貝会会員の佐藤篤司さん（二ノ町出身、永遠会）が受章されました。

佐藤篤司さんの主要経歴は、(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究部門長として活躍されました。

積雪の性質の変化過程の解明とモデル化に基づき雪氷災害対策に活用可能な「雪氷災害発生予測システム」を構築し、また、地球温暖化研究の一環として北極域の雪氷気象変動の観測を実施する等、我が国の科学技術の振興に貢献した功績で受章されました。なお、佐藤篤司さんは元東京片貝会会長・佐藤祐一さんの実弟です。



新ホームページはこちらです

⇒ このQRコードから  
<https://tokyo-katagai.kai.net>

LINEグループ作り  
ました。ご参加を

LINEグループ「なじらね片貝」を立ち上げました。会員の皆様とふるさと片貝を地元情報や近況報告でつなぐ交流の場です。



参加するには ⇒ こちらのLINEアカウント(理事の友田啓(あきら)さん)まで 氏名と「なじらね片貝参加希望」を添えて

1月17日よりゆうちよみ込の手数料が一部値上げになります。折込みのお知らせをご覧ください。

# コロナ禍で大幅に縮小し、2年ぶりに開催 第62回総会開催

令和3年6月27日  
新潟県人会館

毎年6月下旬に開催される総会はコロナ禍のあおりから昨年は中止のやむなきに至り、今年前半にかけても感染懸念が尾を引いたために開催が危ぶまれたものの、理事会で協議の結果、会食なし、ご来賓の招待もなしという最小限の形で2年ぶりの総会の開催にこぎつけることができました。

当日は会員15名の参加を得て、白石知子司会者により次の式次第で開催されました。

まず安達亮一副会长からの開会の宣言、続いて本田会長からのあいさつで、今日の総会は大変な時期に集まっていたことへの御礼と自分自身がワクチン接種が完了した報告がありました。

続いて例年の総会とおりの会計報告、会計監査報告、広報報告・母校を励ます会の活動報告を行いました。この1年の活動を振り返り、前例のない厳しい状況が収まらない中でも会員からの励ましの言葉や寄付を含む会員の皆さまの厚意に感謝しているとの報告がありました。

次に、延び延びとなっていた役員改選の報告を行いました。

役員改選につきましては、理事会で推薦する候補を決め6月発行の会報での報告に対し、返信数が110名で、総会出席予定者が16名、欠席者が94名となり、欠席者94名中の89名の方に了承・承認を頂きました。欠席者のうち5名の方は未記入でした。

上記説明が本田秀幸事務局長よりなされ、当日参加の会員15名により活動報告。会計方向とともども満場一致で役員改選が承認されました。



総会のしめくくり、7年にわたり会長および事務局長の重責を担ってこられた本田秀幸さんに感謝の意を込めて花束を贈呈しました。

こうして例のないこじんまりとした総会を余儀なくされたものの、目下の状況にもかかわらずお互いに元気に顔を合わせる事ができた会員一同、再会を喜び合い、次の会合を遠からず賑やかに開催できることを願いつつ、そしてそれまで東京片貝会のさらなる発展を目指して弛むことな

く励もうと誓い合って総会はお開きとなりました。

【会員出席者】(敬称略)  
(昭和17〜39卒)  
阿部修次、本田秀幸  
(昭和40卒)  
相崎俊夫、安達 徹、安達亮一、藤塚伸雄、徳永隆浩、徳永雅史、松山朱実、安達良喜、佐藤 潤、吉田貴裕、友田啓、白石知子、名塚孝雄

【寄付者名】  
左記の方々から東京片貝会へご寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。(敬称略)  
(R3・4〜10)  
太刀川三郎(15)、阿部修次(21)、大塚順一、友田善智(22)、長岡利夫、丸山恭次(23)、石橋行夫(27)、安達隆(28)、横田房枝(29)、安達弘之(30)、小野塚清、平石和子(31)、安達 弘(33)、芝文夫(35)、広沢雅子(36)、寺町明美、本田秀幸、松井京子、吉原敏明(37)、相崎俊夫(40)、安達 徹、小林和弘(41)、安達亮一、勝又一

## 異例の事態も片貝らしく

### 祝成人 兔龍会・晴葉会 スターマイン上がる

2年続けて中止となった片貝まつりではあったが、11月6日に成人同級会2学年分のスターマインを始め、喜寿の祝いや三十三歳厄払いなどの奉納花火が打ち上げられた。

片貝まつり実行委員会が主催し、花火関係者など20代が中心の片貝若連合などが協力し、昨年と今年の成人の兔龍会と晴葉会の奉納花火と王送り行事が行われた。

成人の花火には、片貝町協議会呼びかけで各戸から1

## 「ご寄付者名」

【東京片貝会へご寄付】  
左記の方々から東京片貝会へご寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。(敬称略)  
(R3・4〜10)  
太刀川三郎(15)、阿部修次(21)、大塚順一、友田善智(22)、長岡利夫、丸山恭次(23)、石橋行夫(27)、安達隆(28)、横田房枝(29)、安達弘之(30)、小野塚清、平石和子(31)、安達 弘(33)、芝文夫(35)、広沢雅子(36)、寺町明美、本田秀幸、松井京子、吉原敏明(37)、相崎俊夫(40)、安達 徹、小林和弘(41)、安達亮一、勝又一

## 会の動き

司(42)、内藤富美子、藤塚弘、内田京子(43)、黒崎修(45)、相崎達也、徳永雅史(53)、安達良喜(54)、佐藤潤(55)、吉田貴裕(56)、相崎清輝(57)、友田 啓(58)、白石知子(60)

理事會  
本田会長以下  
4/18  
於 新潟県人会館

・役員改選案と互選役員決定  
・総会開催の要領・広報報告  
理事會  
本田会長以下  
5/23  
於 新潟県人会館

第62回東京片貝会総会6/27  
於 新潟県人会館

本田会長以下  
15名  
理事會  
安達新会長以下  
6/27 臨時  
13名  
新体制発足  
10/8  
教育講演會  
於 片貝中学校

講師 吉原忠彦氏  
コロナ禍で当会の出席自粛  
11/14  
於 新潟県人会館  
8名  
・経過報告・新年会見送りを決定・会報編集進捗  
・情報発信機能のあり方



00万円を超える協賛金も集まりました。  
成人の玉送り行事だけでも行って欲しいとの声を受け、意見調整を経て、当日を迎え成人の夢がかなった一日で、片貝まつりの意気込みを感じることが出来ました。

東京片貝会の年会費は二千円です。郵便振込みは窓口よりできるだけATMを使用してください。手数料差50円も節約です!

## 「雪国で手塩にかけて作った”白い宝石”」

米どころ雪国おぢやでつくられた”魚沼産コシヒカリ”  
清らかな水と肥沃な土地で丹精込めて作った逸品です。  
おいしさで安心を追求した黄金色の稲穂から精米された”白い宝石たち”  
その炊きあがりの艶と風味の良さは魚沼産ブランドの名にふさわしい逸品です

詳細は  
⇒ JA 越後おぢや 検索  
**JA 越後おぢや**  
〒947-0031  
新潟県小千谷市土川1-12-25  
☎0258-83-3425

ものづくりの基盤を支える  
伝統と最新技術の高品質鋳物メーカー  
自動車・トラック・農機・産業・油圧・内燃機・工作機械・産業機械・etc  
ISO 9001:2015 審査登録

**株式会社 片貝製作所**

取締役会長 遠藤 充  
代表取締役社長 遠藤 隆幸

〒947-0101 小千谷市片貝町10367-10  
☎(0258)84-2322(代) FAX(0258)84-3805  
<https://k-hp.katakai-mfg.co.jp>

正解は 越後製菓!

**越後製菓株式会社**

〒940-8622  
新潟県長岡市呉服町1-4-5  
TEL. 0258-32-2358  
<https://www.echigoseika.co.jp/>



### 第39回母校を励ます会教育講演会 演題「食品製造業の未来に向けての役割」

吉原 忠彦氏 昭和62年卒 鳳凰会  
令和3年10月8日 片貝中学校にて

一之町出身で今もお住まいの吉原さんは越後製菓の社長という重責を担っています。片貝町内にくつも工場がありおなじみの越後製菓ですが、吉原さんにとっても同じで高校生のときのアルバイトや学生時代の研究開発担当の皆さんとの交流がきっかけで同社に入社しました。

講演ではまず食品製造の技術で「おいしさ」をどう追求しているか、いくつもの技術や製品の紹介がありました。例えば、高熱でなく高圧を使って原料の色や香りを残しながら安全にしかもおいしく調理したパックごはん。脳卒中予防やリラクセスに効果のあるGABA(アミノ酸の一種)

#### 講演を終えて

吉原 忠彦さん

この度は、コロナ禍にもかかわらず講演会を無事開催していただいた関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。また、大変貴重な機会を頂き、心より感謝申し上げます。

の感想をお聞きし、内容の本質部分をよく理解されていて少し安堵しています。講演を聞かれた皆様の心に、少しでも響くところがあれば幸いです。

今回の講演では、「圧力」の食品利用、主食である「お米」の話、持続可能な社会の実現に向けての食品製造業の取り組み等、難しい内容を含んだお話をさせて頂きました。準備段階では、如何にして小・中学生に分かりやすく伝えるか試行錯誤の連続でしたが、講演後

コロナ禍で、2年連続片貝まつりが中止となりました。非常に残念ですが、近い将来、東京を含めた県外の片貝出身の皆様が、安心して「ふるさと」に戻れる日がやってくると信じています。これからも、少しでも片貝を盛り上げていけるよう我々鳳凰会も努めて参ります。



や、ポリフェノールなどで知られる抗酸化成分を高圧加工によりたくさん食品に取り込む技術開発が進んでいること。細胞や臓器を保存し、小型容器で輸送するなど医療を含めた応用実験が進んでおり越後製菓もこれに取り組んでいること、などです。

さて、持続可能な社会のために、豊かさばかりを追い求めるのではなく大地に負担をかけない食料生産のあり方や飽食を改めることが求められています。賞味期限を延ばす、仕入れ管理や販売方法を工夫する、などで製造販売者も消費者も食品ロスや包装を減らすなどの環境への配慮がますます大事になっていると吉原さんは強調します。

越後製菓ではこのような取り組みはもろろんのこと、安心して食べられる食品、自然や資源を大切に、といった目標があることも紹介されました。

た。目標には「剛健質朴」もあること、加えて吉原さんから児童生徒へのメッセージとして「不撓不屈」の気持ちで進学し社会に巣立ってからも素直でしかも強い気持ちをもって困難にもくじけずに歩んでほしい、と呼びかけて今回の講演を締めくくりました。

2年続きで講演者をはじめ地元の皆様のみご出席での開催となり、東京片貝会や母校を励ます会からのあいさつや講師紹介は片貝同窓会の皆様に代読いただきました。感謝対策を踏まえての先生方の準備など、皆様の多大なるご協力に感謝申し上げます。

#### 【母校を励ます会基金 協力者名】

- (敬称略)(本年4〜10月)  
太刀川三郎(15)、阿部修次(21)、大塚順一・友田善智(22)、長岡利夫(23)、佐藤祐一・石橋行夫(27)、安達隆・相内テール・黒崎勝(28)、吉井均・横田房枝(29)、安達弘之・本田十三雄(30)、小野塚清(31)、諸我時夫(32)、安達弘(33)、芝文夫(35)、広沢雅子(36)、本田秀幸・松井京子・佐藤篤司・寺町明美・吉原敏明(37)、阿部清(40)、安達徹・佐藤誠・山口光夫(41)、安達亮一・勝又一司(42)、内藤富美子・藤塚弘(43)、黒崎修(45)、松井正之(46)、高野昭人(47)、藤塚伸雄(48)、徳永隆浩(52)、相崎達也・徳永雅史(53)、

母校を励ます会への「寄附をよろしく願います」

#### 講演ごぼれ話

▼高圧処理でのおいしい食品にはほかに カキのむき身・とび魚の白だし・色がきれいなよもぎもち(越後製菓)などがあります。

▼お米は糖類と性質の違うデンプンなので「お米を食べると太る」ではありません。

▼「ごはんを1食につきもう一口多く食べれば、カロリペースで食料自給率が1%向上する」とか。ごはんをもっと食べましょう。

#### 会員短信

秋晴れの一日、同級生三人衆で東国三社(鹿島・息栖・香取)にお参りしました。クルマでも日帰りツアーでも気軽に回れておススメです。



(さざなみ会 徳永隆浩)

会員の皆さまからの近況や随想など寄稿を募集します。

印半纏、のれん、手拭  
各種染織品誂処  
日本伝統織物 片貝木綿製造元

(有) 紺仁

〒947-0101  
新潟県小千谷市片貝町4935  
☎0258-84-2016  
http://www.konni-aizome.com  
konni@echigo.ne.jp



代表取締役 相崎秀人(鳳凰会)  
米萬 検索  
小千谷市片貝町5347  
Tel 0258-84-2057



夜空にロマンを  
世界一 四尺玉  
有限会社 片貝煙火工業  
代表取締役 本田正憲  
〒947-0101  
新潟県小千谷市片貝町6529-1  
☎0258-84-2076  
FAX 0258-84-3516  
http://www.katakai-enka.co.jp

私たちは、お客様のハコぶと演出、そして想いをかたちにする集団です！

段ボール・ブラ段・花火玉皮…  
フーゲツ 検索

段ボール製家具・遊具…  
段屋風月 検索

小千谷市片貝町2489-1  
電話 0258-84-4141

# ふるさと・は・今 令和3年6月より 令和3年11月まで

## 母校近況

### ■小学校 大原教頭先生

【6/2・3 6年生 修学旅行】

2日間とも好天に恵まれ、佐渡で様々な体験活動を満喫してきました。砂金採り体験では、みんなが真剣！最高16個も集めたツワモノもいました。バスで移動中、空を羽ばたく朱鷺を見ることもでき、どの子も「あっという間の2日間だった」と楽しげに話していました。

【6/23・24 5年生 自然教室】

妙高自然の家での宿泊体験。1日目のメインは野外炊事。みんなで協力し、美味しいカレーライスができました。2日目は原流体験。沢を上流に登りながら草木を観察したり、水生生物を探したり、ズボンをびしょ濡れにしながら、妙高の自然を楽しんできました。

【1人1台パソコン配付】



【10/7 マラソン記録会】

秋晴れのもと、学校周辺のコースを力走しました。昨年度できなかった分、今年こそはと新記録をねらう子。これまで体育の時間で練習した成果が出るよう自己新記録をめざす子。一人一人が目標をもち、「その調子!そのまま坂も登れ〜!」と仲間や保護者の応援を受けながら、一生懸命走りました。



【10/14 もみの木遠足】

1年生から6年生までの縦割りグループをつくって、越路の巴ヶ丘自然公園まで歩きました。疲れた1年生のリュックを

5・6年生が持ったりして、無事歩き通すことができました。巴ヶ丘自然公園ではグループごとに公園でオリエンテーリングをしたり、遊んだり秋晴れの楽しい1日を過ごしました。

【11/13 もみのキッズ学びランド～巫女唄】



### ■中学校 佐藤教頭先生

昨年度中止となった中学校体育連盟の中越大会（夏季）と中越吹奏楽コンクールが6・7月に開催されました。子どもたちは正々堂々と挑み、最後まであきらめずに全力を尽くしました。

本年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、9月11日に体育祭を開催しました。スローガンは「龍騰虎闘～全力尽くせば不可能なし～」激しく戦い最後まで諦めず、全てを出し切り本気でやりきるとい意味が込められています。準備の段階で種目検討委員会を何度も開催し、安心・安全な競技になるように最善策を練って新競技を考え、大成功を収めることができました。

秋の新人大会では、合同チームでの参加となりましたが、野球部が5連覇を達成するなど、どの部も新チームで頑張っています。

本年度も、東京片貝会教育講演会を開催していただきました。講師の吉原忠彦様からは、世界的な課題である持続可能な社会の実現を食品の面から、具体的に学ぶことができました。誠にありがとうございました。



## 町のできごと

### ■「しゃぎり」新しく収録

片貝伝統芸能保存会では、「しゃぎり」の新しいCD音源化に向け、同会しゃぎり部による演奏を録音した。これまでの音源は代表的な曲目のみであったが、今回は町内ごとの異なる幅広い曲目を網羅的に記録した。また、一昨年、国民文化祭で披露した「片貝の木遣り」の本番音源も文化祭事務局の許可を得て収録する。

### ■「片貝まつり」切手になる

日本郵便信越支社は浅原神社秋季例大祭奉納大煙火をモチーフとしたオリジナルフレーム切手「片貝まつり四尺玉花火」を発売した。大きく花開く四尺玉と還暦の大スターマインに加え、昼間の筒引き、まとい行事と成人の玉送り行事がデザイン化された。

### ■にいがたねりんピックで優勝

第26回にいがたねりんピックゲートボール大会が開催され、片貝クラブ（メンバー：安達博栄、浅田實、相崎修司、大西良子、相崎三津子、藤塚厚子。敬称略）が優勝し、第33回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねりんピック岐阜2021）の出場権を獲得した。

### ■おぢやの観光フォトコン

令和2年度の「おぢやの観光フォトコンテスト」の受賞作品が発表され、片貝からは安達和歩さんの作品「希望の灯り」（クラインガルテンふれあいの里で撮影）が観光協会会長賞に選ばれた。

### ■小若お囃子コンクールに拍手

片貝まつりは中止となったが、「しゃぎり」の継承を目的とするお囃子コンクールは開催され、6町内ごとに出場し、伝統の音色を披露した。審査の結果、優勝はい組、2位三組、3位て組となった。表彰式後にはサプライズの大火火も打ち上げられ、祭りの雰囲気を感じさせた。

### ■あとがき

コロナ禍は予断を許さないものの、収束に向けて明るい希望の光が見えつつあります。どうぞお元気で良い新年をお迎え下さい。

（広報担当：小林・徳永・安達・相崎）

## 次号より 東京片貝会報 に模様替え

読みやすい横組みの紙面構成に模様替えしつつこれからも会員本位の情報をお伝えしIT化の取り組みとリンクしていきます。ご期待ください。